

丹波篠山市立城南小学校 学習や生活に関する学力向上プラン

丹波篠山市学力・学習状況調査（以下「市調査」）及び全国学力・学習状況調査（以下「全国調査」）は、各教育委員会や各学校が児童生徒の学力や学習状況を把握し、学習指導や生活指導の改善等に役立てることを目的として実施されています。

本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であることや、学校における教育活動の一側面に過ぎないことなどを踏まえつつ、結果をもとに授業改善等を行うため、「学習や生活に関する学力向上プラン」を作成しました。学力の定着状況をご理解いただき、子どもたちの学習や生活習慣の改善、学校の教育活動に対してご支援いただければありがたいと思います。

【全国学力・学習状況調査及び丹波篠山市学力・生活習慣状況調査結果の概要】

全体的な状況

- ・市調査（5年生）は、国・算とも基礎的な内容、領域では「読むこと」や「図形・測定」、全国調査（6年生）は、国語は「言語文化」、算数は「図形・データの活用」に定着が見られました。これは普通の授業を大切に、基礎基本を身につけるため意欲的に取り組む姿勢が結果に表れたと思われる。特に漢字、計算問題や図形は反復練習することで、確実に学力が身につけていると感じます。
- ・学力調査と生活調査との相関関係として、学力が高い児童ほど「勉強する時は自分で計画を立てる」「学校の授業の予習復習をしている」「テストで間違えた問題は、あとでやり直している」と答えていました。学習習慣を身につけ、自ら学ぶ習慣を身につけることが学力向上につながっていると考えています。今後とも、ご家庭でも学習習慣の定着に取り組んでいただくようお願いします。

課題と対応

国語 自分の考えをまとめ、文章の構成を工夫してよりよく書く力の育成

- ・5年生は「主体的に学習に取り組む態度」の領域、6年生は資料を読み取りそこから分かったことを条件に合わせて自分の言葉でまとめることに課題が見られました。普段から、筆者や相手が何を伝えたいのかを考えながら読んだり、自分の考えや思いを要約したりする学習を進めたいと思います。

算数 図やグラフなどのデータを読み取り、分類・整理する力の育成

- ・5・6学年とも図やグラフを読み取り、思考・判断・表現する力に課題が見られました。資料から何が分かるかを考えたり、なぜそのような計算になるのか理由を考えたりする必要があると考えました。授業では計算問題を解く練習だけでなく、自分で考え、まとめる授業づくりをめざします。

学習・生活習慣 生活習慣の改善

- ・3～6年生とも「生活習慣」のスコアが全国平均より低いことが分かりました。「朝食を食べる」「自分で起きる」「寝る時間」「スマホやゲームの時間」など基本的な生活習慣が乱れている様子が見られました。学校だけでなく家庭と連携し、生活習慣の改善をすすめていきたいと思います。

【保護者・校区の方へお願い】

昨年度から引き続き、学校での生活において「先生や友だちの支え」が平均より高く、「学校が楽しい」と感じる児童が多くいました。これは教職員がどの児童にも分かりやすい授業づくりをめざして教材研究を行ったり、居心地の良いクラスづくりを通して友だちや教職員との信頼関係を築いたりしている結果だと思われます。これからも、子どもたちにとってよりよい学級・学校となるように教職員が共通理解をはかり、児童の健全育成を目指したとりくみをすすめていきたいと思ひます。

家庭での生活において、「平日のテレビ・動画、インターネット・ゲームの時間」は、全国より長い傾向が見られました。また「学校に持って行く物を、前の日に、確かめていますか」の質問で、「必ず確かめる」と答えた児童は約3割程度しかありませんでした。家庭学習の時間が少なくなったり寝る時間が遅くなったりすることで持ち物の確認ができていない様子が昨年度に引き続き見られました。ご家庭でルールの再確認をしていただき、規則正しい生活習慣の定着をよろしくお願いします。

